

むーもん館×県立郷土館特別共同企画第2弾

重要文化財指定記念

北海道・北東北の縄文遺跡群世界遺産登録5周年記念

ただいま石斧展

ご期待に応え今年は
期間を長くしました

2026年

10月17日(土)

～

11月29日(日)

重要文化財



会場

大平山元遺跡展示施設
むーもん館

(東津軽郡外ヶ浜町蟹田大平沢辺46-4)

観覧時間

9:00～16:00

観覧料

300円 (大学生以下無料)

開会記念

「ギャラリートーク」～むーもん館
と大平山元遺跡を歩きながら～

元蟹田中学校教諭一町田工氏

10月17日(土)10時

当時をふりかえりながら解説

記念講演

むもん

「大平山元遺跡における無文土器発見
の意義—小さな破片が広げた大きな波紋—」

蟹田(中町)出身の川口潤氏による講演

11月7日(土)10時～(無料)

外ヶ浜町役場

※青森県考古学会共催

問い合わせ先

外ヶ浜町教育委員会 世界文化遺産室

TEL 0174-31-1233・1236 FAX 0174-31-1234

MAIL oodai-yamamoto-iseki@town.sotogahama.lg.jp



ただいま石斧展

去年、青森県立郷土館の全面的な協力を得て開催され、大好評だった「おかえり石斧展」。今年は、期間を1ヶ月以上に延ばし「ただいま石斧展」として開催します。さらに初日には、大平山元遺跡の発見の契機となった一町田工氏をお迎えし、ギャラリートークの開催、期間の中盤には大平山元遺跡整備活用検討会議委員長の川口潤氏による講演会も開催します。イベントもあわせ、青森県立郷土館所蔵資料の主要資料をご堪能できる「ただいま石斧展」をご覧ください。

大平山元遺跡

1971(昭和46)年、蟹田大平集落から発見された大きな石器は、中学生によって蟹田中学校の教諭だった一町田工先生の元へ届けられました。その後、県立郷土館に持ち込まれ、学芸員によって「局部磨製石斧」であることが明らかとなりました。当時の県内では、類例が少なかったため、県立郷土館は学術調査を実施し、それら石器群とともに土器が出土し、最古の土器と話題になりました。

1998(平成10)年の発掘調査でも、これらの石器群とともに土器が出土し、年代分析の結果、約1万5千年以上前のものと判明しました。そして、2013(平成25)年に国の史跡に指定され、2021(令和3)年には、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産のひとつとして世界文化遺産となりました。

さらに、主だった遺物は、2025(令和7)年9月26日に県所有品と町所有品ともに国の重要文化財指定を受けました。

展 示 品

きよくぶ ませい せきふ

1 局部磨製石斧 長さ:19.3cm

2 土器片 幅:1.9cm

3 土器片 幅:2.8cm

4 矢じり(石鏃) 長さ:2.6cm

5 舟底形石器 長さ:10.0cm

6 舟底形石器 長さ:12.1cm

7 尖頭器(石槍) 長さ:9.6cm

8 尖頭器(石槍) 長さ:7.5cm

9 尖頭器(石槍) 長さ:6.0cm

※縮尺不問
県立郷土館所蔵
【重要文化財】

大平山元遺跡展示施設む〜もん館

〒030-1307 東津軽郡外ヶ浜町蟹田大平沢辺46-4
TEL/FAX 0174-22-2577

〔開館時間〕 午前9時から午後4時まで

〔観覧料〕 一般300円大学生以下無料
※団体等各種割引有

〔アクセス〕 JR津軽線「蟹田駅」から車で10分
東北新幹線「新青森駅」から車で45分
東北自動車道「青森IC」から車で55分

MAP

